

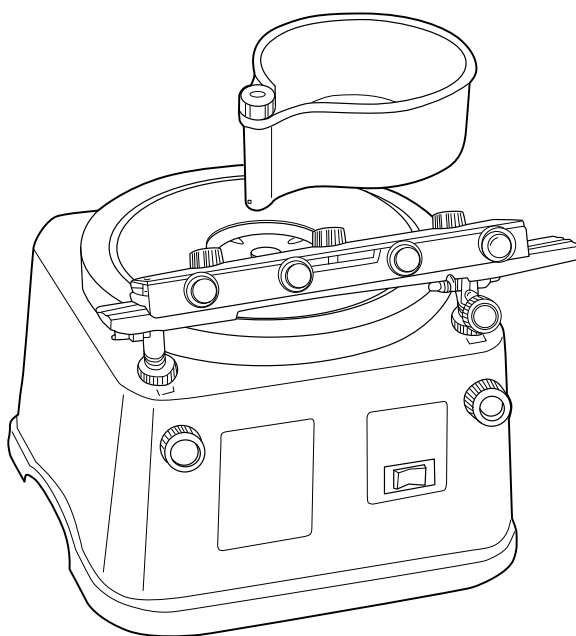
RYOBI

研磨機

FG-205

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



— もくじ —

・安全上のご注意	1
・各部の名称	5
・仕様	6
・ご使用前に	7
・研磨方法	13
・刃物の種類	16
・砥石の交換方法	17
・保守と点検	18



二重絶縁

このたびは、リョービ研磨機をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の 警告、 注意 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 警告・ 注意以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は(注)にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業場は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・一般に電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・機械を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、機械やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場に近づけないでください。

⚠ 警 告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理をして使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために機械の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った機械を使用してください。
 - ・小型の機械やアタッチメントは、大型の機械で行う作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。
 - また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って機械を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物、または機械をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するときは、クランプや万力などを利用してください。
 - 手で保持するより安全で、両手で機械を使用できます。
 - ・機械によっては、機械本体を移動しないようロープ等を使って固定してください。
12. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・接続箇所は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理をする場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が想定される場合。

△ 警 告

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

●研磨機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、研磨機をご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねの着用を心掛けてください。
3. 砥石は純正品を使用してください。

純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモータ焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または、リョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
7. 本機のスイッチが切れていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。

スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
8. ぬれた手で電源に触らないでください。
 - ・感電の原因になります。
9. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
10. 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。

刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
11. 事業者の方へ
 - ・砥石の取替え、試運転は、法規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

△ 注 意

1. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - ・砥石が破損したとき、けがの原因になります。
2. 試運転を励行してください。
 - ・試運転時間は、砥石交換のとき 3分間以上
その日の作業始めのとき 1分間以上です。
 - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
3. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

△ 注 意

4. 本機の定格時間は 20 分です。

20 分以上連続して使用すると、温度ヒューズが作動して自動的に回転が停止することがあります。

このような時は一度スイッチを切り、電源プラグを抜いて 15 分位休ませてからご使用ください。

5. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。

砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。

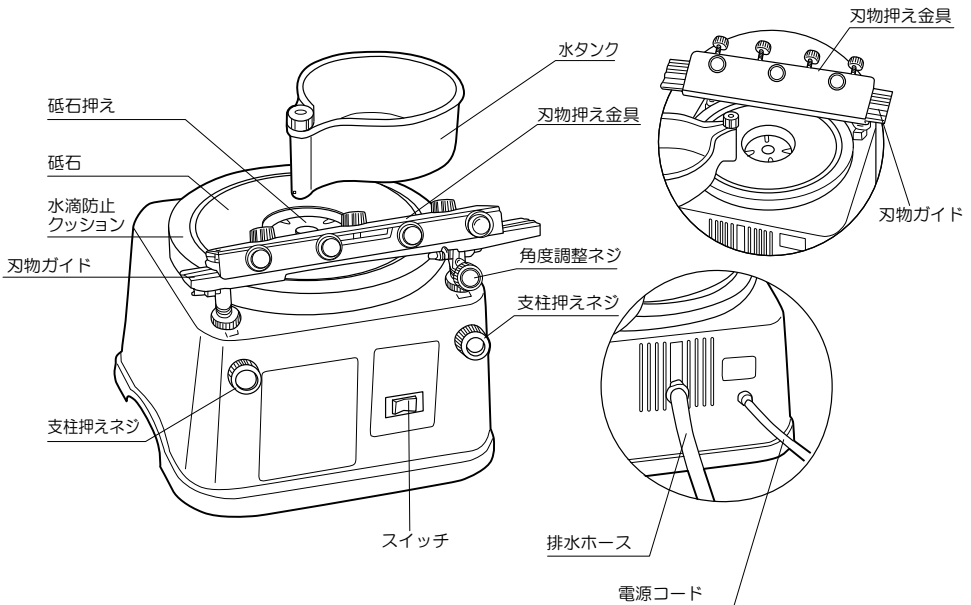
二重絶縁とは…

電気回路と使用者の間を二重に絶縁した構造を示し、感電に対する安全性が高くなっています。このためアースを取る必要がありません。

延長コードとは…

一般工具用の延長コードをご利用ください。また、巻きコード（コードリール）を利用される場合は、巻いたまま使うと熱を持ちますのでコードを全部引き出してご使用ください。

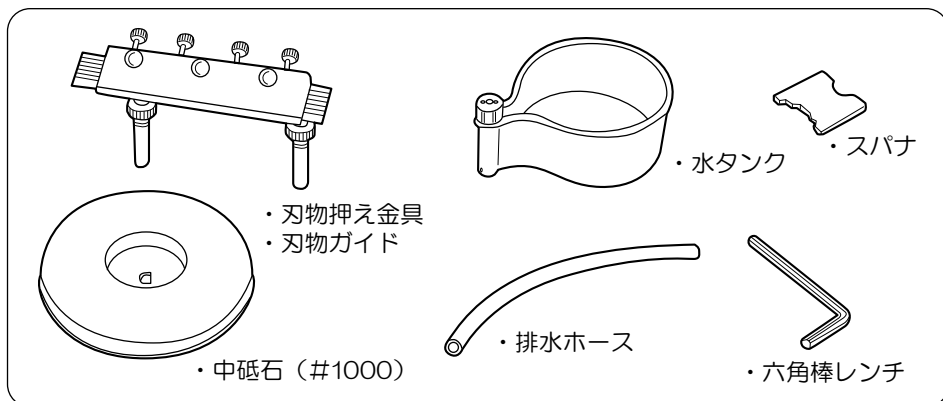
■各部の名称



■仕様

電 源	单相・交流 100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	1.95/1.85A
消 費 電 力	175/160W
定 格 時 間	20 分
回 転 数	380min ⁻¹ (50Hz)
(正 ・ 逆 転)	440min ⁻¹ (60Hz)
砥 石 寸 法	外径 205 × 内径 80 × 厚さ 25mm
本 体 寸 法	幅 270 × 奥行 270 × 高さ 270mm
コ ー ド 長 さ	1.85m
質 量	6.7kg

■付属品



■別販売品

- ・荒砥石（＃180）
- ・中砥石（＃1000）
- ・仕上砥石（＃6000）

■用途

●刃物研磨

- ・包丁（菜切、文化、牛刀、刺身、出刃、ペティ）
- ・カンナ、ノミ、彫刻刀、ハサミなど

■ご使用の前に

⚠ 警 告

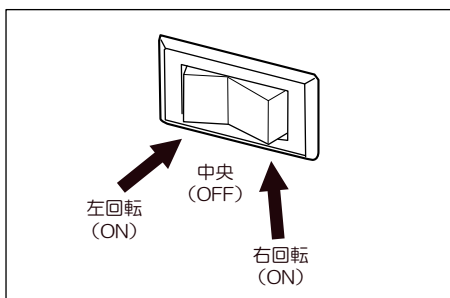
1. 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。
3. 水で濡れた手で電源プラグや電源コンセントに触れないでください。感電事故の原因となります。

⚠ 注 意

1. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆転のスイッチを入れてください。

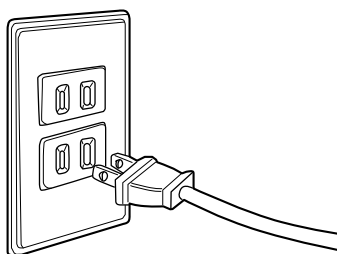
●スイッチについて

- ・スイッチは、左回転側を押すと電源が入り (ON)、砥石は左に回転します。
右回転側を押すと、同じように電源が入り (ON)、砥石は右に回転します。
中間の位置では、スイッチは切れた (OFF) 状態となり、砥石は停止します。
注) 回転方向の選定については、13 ページの「刃物と回転方向」を参照してください。



●電源の接続

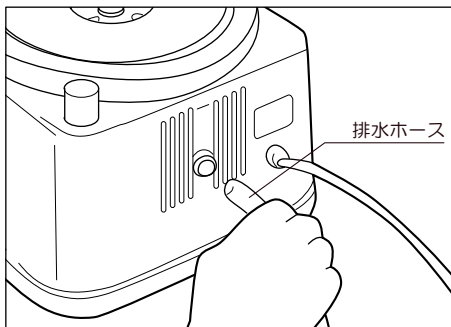
- ・電源コード先の電源プラグを手で持ち、確実に電源コンセントに接続してください。
- ・電源コンセントから電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを手で持ち抜いてください。



●排水ホースの取付け

- 電源コード取出し部の左側に、排水ホースの取付け口があります。
付属の排水ホースを挿入し、取付けてください。

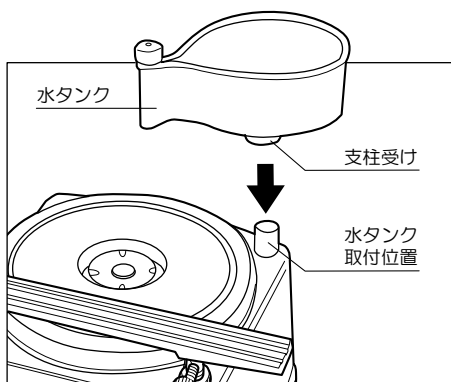
注) ご使用の際、ホース先端から研磨に使った水が排出されます。
あらかじめ、受け皿などを用意してください。



●水タンクの取付け・調整

- 水タンクの取付け

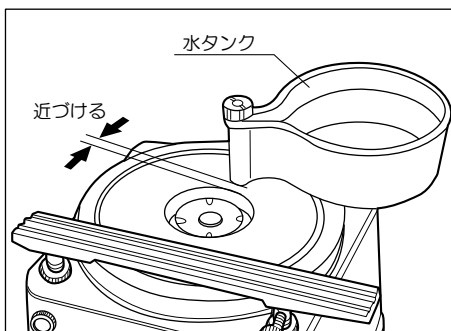
本体上面の水タンク取付け位置(支柱)に水タンク下の支柱受けを重ね、取付けてください。



- 水タンクの位置調整

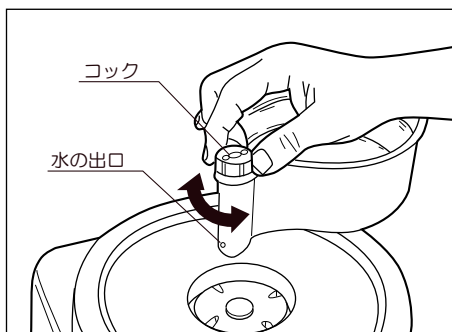
水タンクの水の出口は、砥石の内側に向けてください。

水の出口が砥石の外側近くにあると、とぎ汁が遠心力で砥石の外側に流れ、砥石表面を全体に潤すことができません。



・水タンクの水量調整

水タンクに8分目位の水をいれます。水タンクのコックを左右に回し、水タンクの下・先端の(コックの下)水の出口から水の出る量を調整してください。つぎにスイッチを入れ、砥石を回転させて砥石の表面を十分濡らしてください。研磨時に水を出す量は、1秒間に1滴位の目安としてください。



注) 砥石表面(研磨面)にとき汁が適量残るように出してください。水の量が少ないと砥石表面が乾き、逆に多いととき汁が流れてしまいます。水の量には、十分注意してください。

注) 使用中など、水タンクの水の出口からスムーズに水が出なくなったときは、水タンク内の水量が少なくなったか、出口の詰まりが考えられます。細い棒などで詰まりを取り除いてください。

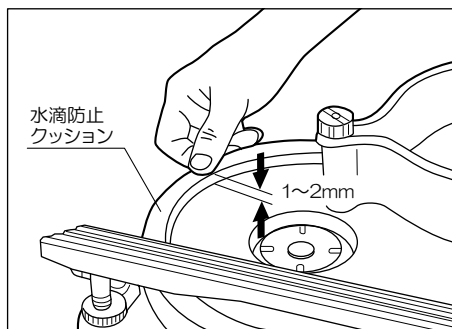
●水滴防止クッションの調整

水滴防止クッションは、簡単に手で上下調整ができます。

水滴防止クッションを手で押すか、つまんで持ち上げ、砥石表面より1～2mm高い位置に合わせてください。

注) 水滴防止クッションは、スポンジ製です。

研磨中に刃物が触れても、刃先を傷つけることはありません。

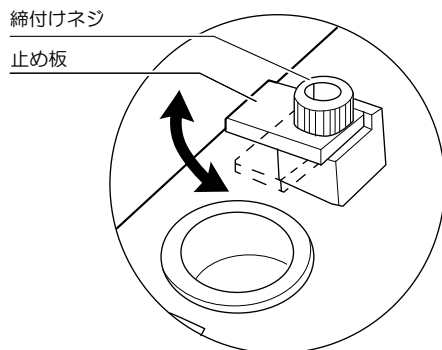


●刃物ガイドの取付け、取外し

(刃物ガイドの取付け)

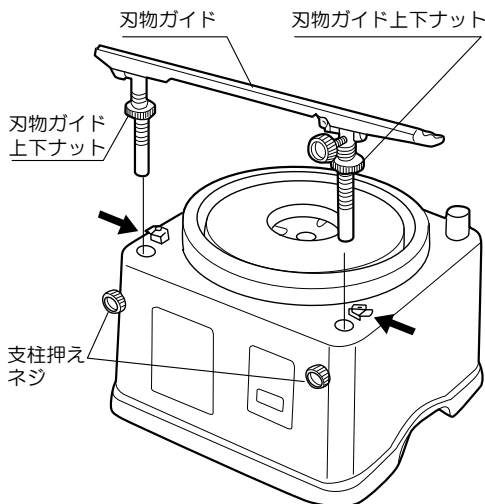
止め板の締付けネジ (六角穴付ボルト) を付属の六角棒レンチでゆるめて、あらかじめ止め板を横に向けてください。(左右 2ヶ所共)

刃物ガイドを本体に差し込み、刃物ガイド上下用ナットを止め板で押えてください。先に横に向けた止め板を、刃物ガイド上下用ナットを押える位置に戻し、締付けネジ (六角穴付ボルト) を付属の六角棒レンチで締付けてセットします。



(刃物ガイドの取外し)

止め板の締付けネジ (六角穴付ボルト) を付属の六角棒レンチでゆるめて、止め板を横向きにしてください。(左右 2ヶ所共) つぎに、支柱押えネジをゆるめて、刃物ガイドを抜きます。



●刃物ガイドの調整

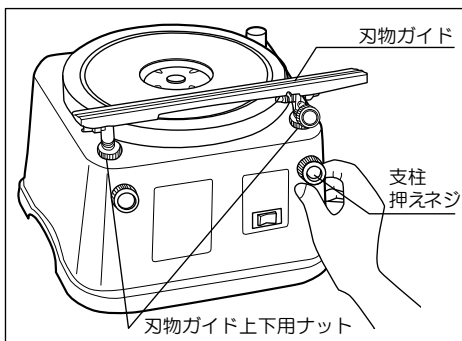
（高さ調整）

支柱押えネジをゆるめ、刃物ガイド上下用ナットを左右同時に回し刃物ガイドを上下させます。

高さが決まりましたら支柱押えネジを締付け、固定します。

注）刃物ガイド上下用ナットが止め板で固定されて回らないときは、締付けネジ（六角穴付ネジ）をゆるめてください。
高さ調整後は、必ず締付けネジ（六角穴付ネジ）を締付けてください。

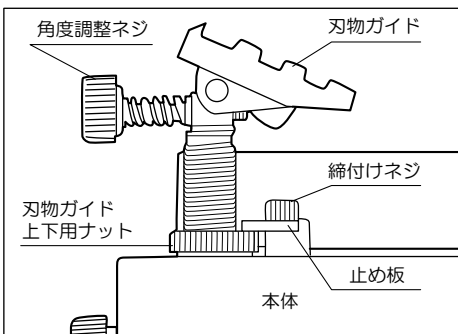
注）刃物ガイドと砥石の間隔は、1～3 mmになるよう刃物に合わせて調整してください。



（角度調整）

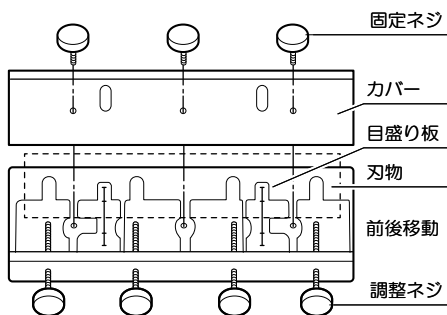
角度調整用ネジを左右に回し、適正角度にセットします。

右に回すとゆるく、左に回すと急な角度になります。



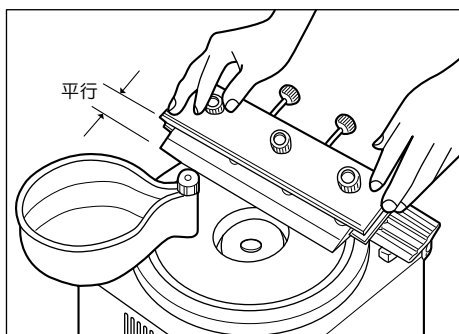
●刃物押え金具

電気カンナ刃など長い刃物の研磨は、付属品の刃物押え金具に刃をセットし、刃物ガイドにのせて角度調整すれば容易に精度の高い研磨ができます。

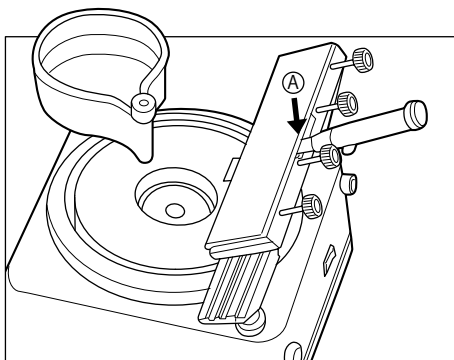


(セット方法)

- ・ 刃物を刃物押え金具の調整ネジで平行になる様に取付けてください。
カバーを載せ、固定ネジで締付けてから刃物ガイドにセットし研磨します。



- ・ ノミ等柄のあるものはAより差し込んでください。



■ 研磨方法

⚠ 警 告

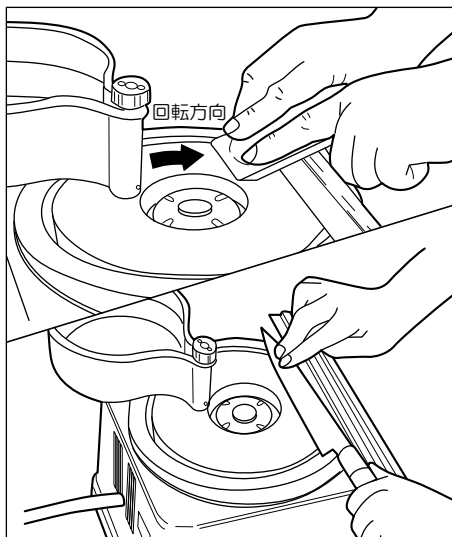
1. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
2. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
3. 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。
刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
4. 研磨中は、刃先の前に指などを出さないでください。
けがの原因となります。

⚠ 注 意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。
3. 本機の定格時間は 20 分です。
4. 定格時間以上の連続使用はしないでください。
5. 再度使用する場合は、本体が冷えたのを確認してから使用してください。

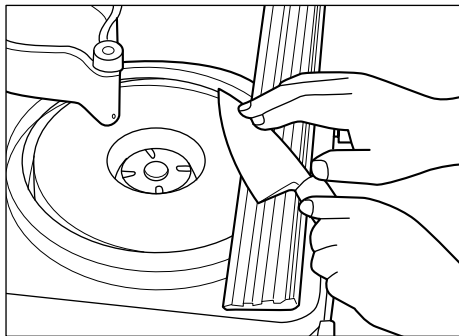
「刃物と回転方向」

- ・ 刃先に砥石が向かってくるように回転方向を選び研磨すると、カエリのないきれいな研磨ができます。
なお、長い刃先の包丁などでは、正回転にこだわらず、研磨面全体を使った（逆回転部分も使った）研磨を行ってください。



「研磨」

- ・ 研磨する刃物を刃物ガイドに当てて、角度を調整してください。
角度合わせが済んだら、いったん刃物を外してください。
- ・ 研磨する刃物の研ぎ面に合わせ、砥石の回転方向を決めてください。
- ・ 水タンクに水を入れてください。
- ・ スイッチが中央の切り位置 (OFF) にあることを確認した後、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ・ 水タンクのcockを回し、水を砥石に出し始めてください。
続いて、刃物に合わせた回転方向にスイッチを入れ (ON)、砥石表面を濡らしながら、水の出る量を調整してください。
- ・ 砥石全体が濡れたら、刃物ガイドの上に研磨する刃物を乗せて研磨を始めてください。
刃物を研ぐときは、片方の手で柄の部分などを握り、もう片方の手の指先で刃物の上面をかるく押さえ研磨してください。
- ・ 刃物全体が研磨できたら、刃物を外しスイッチを切り (OFF)、水を止めてください。

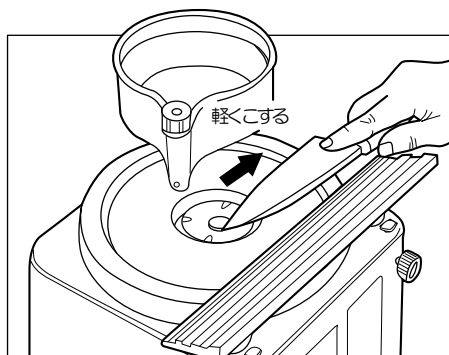
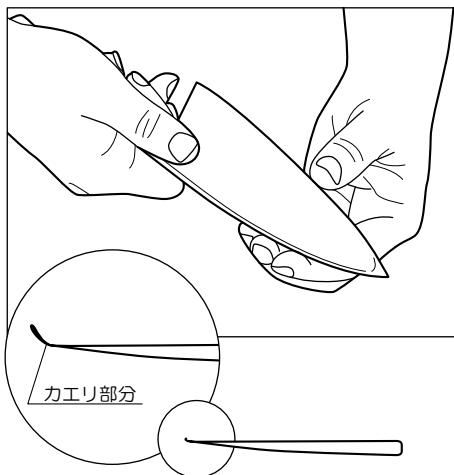


- ・研磨後、指先で刃先のカエリ具合を確認してください。

このとき、刃先で指を切らないように注意してください。

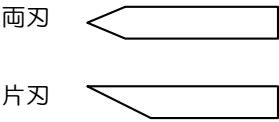
カエリがある時は、カエリがある面を回転を止めた砥石の研磨面で軽くこすってください。刃先を指先で確認しカエリを感じなければ研磨は終了です。

注) カエリがあるまま刃物を使用されますと、刃欠けの原因になるばかりか、欠けた刃先が切ったものに食い込むなど大変危険です。



■ 刃物の種類

- ・ 刃物には片刃と両刃があります。
片刃を両側から同じように研ぐと切れ味が悪くなります。
また、両刃を片側から研いでも切れ味は良くなりません。
両側から均等に研いでください。



● 包丁の刃先形状（刃先の形状に合わせて刃研ぎをしてください。）

種 類	菜 切 包 丁	牛 刀	刺 身 包 丁	出 刃 包 丁
形 状				
名 称	両 刃	両 刃	片 刃	片 刃
刃研ぎの 方 法	● 刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		● 刃先の角度のついている面を角度に合わせて研いでください。 ● 裏面の力エリは砥石の回転を止め、刃物の裏面全体を砥石に当て、軽く引くようにこすってとります。	

■砥石の交換方法

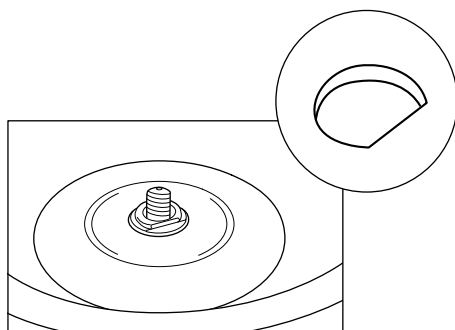
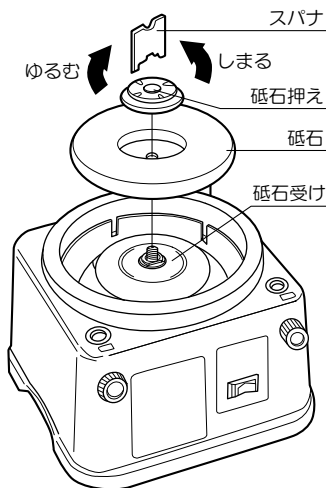
△ 警 告

1. 砥石交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
2. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると砥石が破損し、けがの原因になります。

- ・刃物ガイドと水タンクを外した後、砥石の上から、砥石が回転しないように手で押え、砥石の回転を固定した後に、付属のスパナで砥石押えを右に回し、外してください。
つぎに、砥石を上を持ち上げ取外してください。

- ・砥石の取付けは、取外しの逆の手順で行ってください。
砥石受けの切り欠き部分に、砥石下の鉄板の中央穴の切り欠きを合わせ、確実に挿入してください。
正しく入ったことを確認した後に、シャフトのネジに砥石押えのネジを合わせ、砥石押えを左に回して締付け、砥石を固定してください。

- ・取付後は、一度砥石を手で軽く回し、砥石の回転に振れが無いことを確認してください。



■保守と点検

△ 警 告

1. 保守、点検、部品交換等のお手入れの前に電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ・ネジなどゆるみがないか確認してください。
もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

●使用後の手入れ

- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- ・長時間使用しますと、砥石の下部の水受け、排水口に研ぎかすがたまります。砥石を取外し、内部を清掃してください。
- ・本機は防水構造ではありません。
汚れを取り除くときは、乾いた布か洗剤をしみこませ、良くしぼった布で拭いてください。
絶対に直接、水をかけて洗わないでください。
揮発性の溶剤や、ガソリン、シンナーなど引火性のものでは洗ったり拭き取ったりしないでください。
変形や火災などの原因になります。
- ・砥石の表面は、平らを保ってください。
長期間、砥石の同じ部分を使用すると、砥石表面が不規則（不均一）になります。
時々、市販の砥石ドレッサーなどを使用して砥石表面を平らに保ってください。

●作業後の保管

- ・高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- ・小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更する場合があります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社